



令和7年6月14日
与路島重要史跡追碑式
(法要と集落報告会)
報告書



(与路島アブリヤからの景色)

主催:



与路島観光商工協会

後援: 与路集落・古仁屋与路会・名瀬在住与路郷友会・関西与路会

協力: 報恩寺・郷土館・名富石材・竹田石材

●はじめに 与路島の重要視益 大アムシャレ伝説につきて

わたくしたちは信川文夫元与路郵便局長の屋敷と山(旧鎮西村の福島操村長の邸宅の跡地)を2018年にご縁があつてお譲り頂きました。

この敷地内にカミヤマがございまして、そこにノロ神の高位である大アムシャレの碑が存在しており、地元でアブリヤと呼ばれております。

歴史的なノロ神伝説に関係する史跡であり、現在でも奄美大島内の熱心なノロ神信仰の方々がお参りにいらっしゃることもございます。

この碑は、大アムシャレの子孫で現・津止合金工業(株)(本社:東京都品川区)の創業者の津止義信様(碑には津止義仁と記載)により昭和38年(1963年)に建立されたもので、義信氏はご子息に「他の方と思われた骨々も珊瑚石垣の中のアブリヤの地にあり、津止家の骨と一緒にお寺の方に相談し、供養し碑を建てた」と言い残されております。また、大アムシャレのノロ神伝説に関する碑文も2008年に、古仁屋与路会の60周年事業として当方の敷地内の学校の裏山側のカミヤマの麓に建立されています。

一方、与路集落では、ノロ神伝説を知る方々も高齢化で、昔の経緯をご存知の方も大変少なくなつて参りました。また、重要な史跡でありながら、昭和38年以前の当時の風葬の慣習から、アブリヤに与路の先人のものと思われるお骨が多くあり、一部では怖いという印象をお持ちの方も未だに多くいらっしゃるという現状でした。

その中で、元与路島区長であります福島勇与路長寿会長に歴史について色々ご教授頂きまして、また、この地の所有者となつたご縁から歴史・伝説を調査しました。そして、東京の津止合金工業(株)の三代目 津止克明社長ともお会いし、この度の追碑(①墓標に大アムシャレと与路先人之墓の文字の追碑、②大アムシャレの碑文を台座に追碑、③津止家、与路関係者の名前を追碑)を行い、与路島の文化・歴史の重要史跡とし、集落・与路来島者、津止家の誰もが訪れ、先人への感謝と平和を願う場とすることに合意致しました。

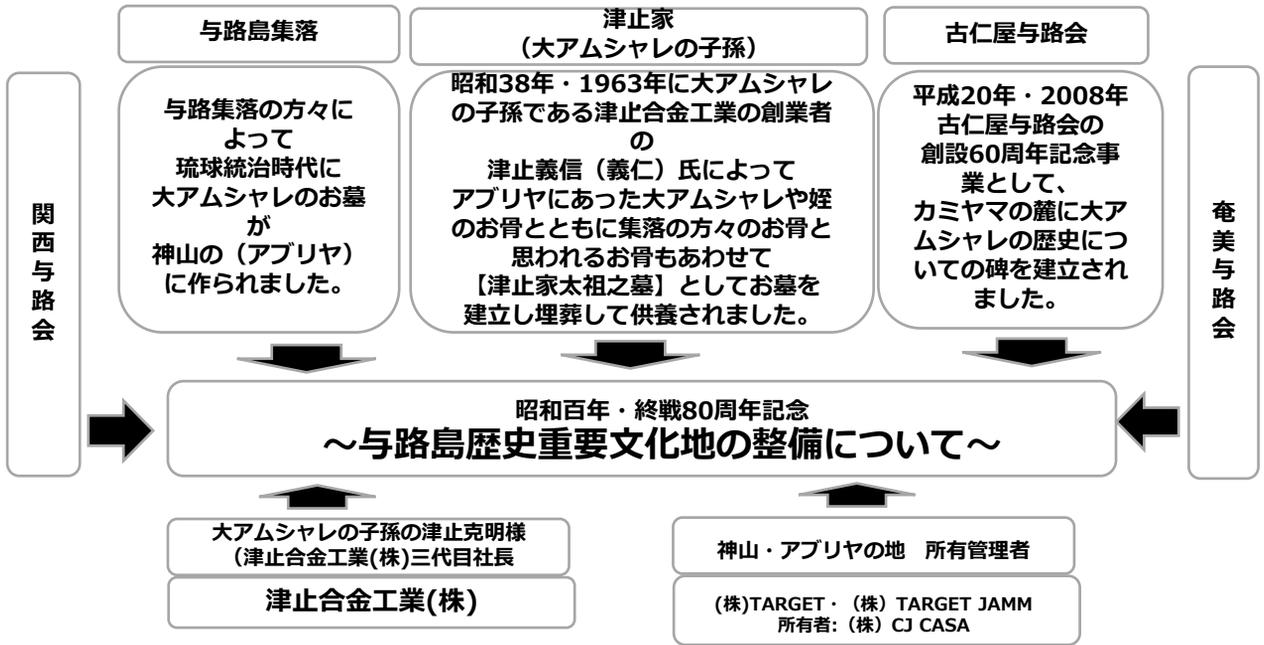
本年は昭和100年・終戦80周年の節目の年であります。この度、この史跡を整備し、人口減の最中にある与路島の今後の発展を祈念すると共に、先人達への感謝と世の平和を願い、与路集落、古仁屋与路会、名瀬在住与路郷友会、関西与路会のご協力の元、与路島重要史跡追碑式(法要と集落報告会)を津止家と開催致しました。

ご協力を賜りました関係各位、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

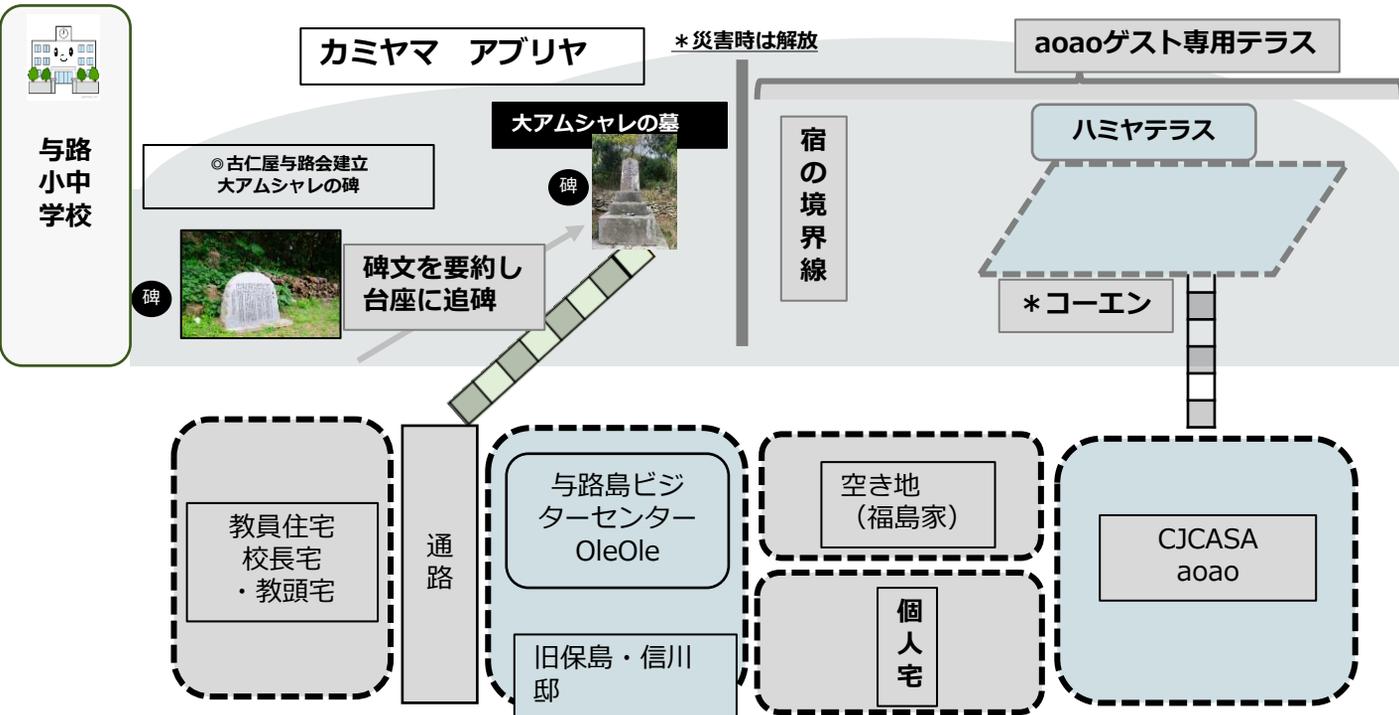
令和7年6月

GETTIグループ 代表 太田雅人

●この度の取り組み



●アブリヤの碑の位置



与路島重要史跡整備 ～令和7年1月から6月～ (草薙ぎ)



(山道整備)



与路島重要史跡整備 ～令和7年6月9日・10日～ (追碑作業)



古仁屋与路会建立の大アムシヤレの碑 ～平成20年4月建立～



与路島重要史跡 大アムシャレの追碑式 (法要と集落報告会)開催概要

名称	与路島重要史跡・大アムシャレの墓への追碑式	
開催目的と実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与路島の重要史跡である大アムシャレの墓に至る山道及びその近辺の整備 2. 大アムシャレ及び与路島の先人も供養されている歴史を反映した文言の追碑 3. 神山の麓にある古仁屋与路会建立の碑文の内容の追碑 4. 与路島の文化歴史拠点として来島者向けの学びと観光の場としての活用 <p style="text-align: center;">以上、与路島の発展に寄与することとともに、</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 昭和百年・戦後八十周年の平和な日本で、訪れる誰もが【先人への感謝】と【世の平和】と【将来への希望】を確認する場となることを願う 	
開催日	2025年6月14日（土）（整備期間：2025年1月より6月）	
開催場所	■法要会場 : 与路島 神山 アブリヤ ■集落報告会会場 : 与路島 公民館 ■休憩所 : OleOle（旧信川・保島邸）	
主催	与路島観光商工協会	
共催	津止合金工業（株）・（株）TARGET JAMM・（株）CJCASA	
追碑碑文の記載順	与路島長老会 与路島集落 与路島観光商工協会 古仁屋与路会 名瀬在住与路郷友会 関西与路会	会長 福島勇 区長 信島豊武 会長 榮 勝永 会長 池崎輝房 会長 喜入博一 会長 徳永和郎
後援	与路集落・古仁屋与路会・名瀬在住与路郷友会・関西与路会	
特別協力	唄者 里 朋樹	
協力	報恩寺・郷土館・元商事・名富石材・竹田石材・マンデイカシャヴィラ・凧堂カフェ・OleOle・芳丸・泰丸	

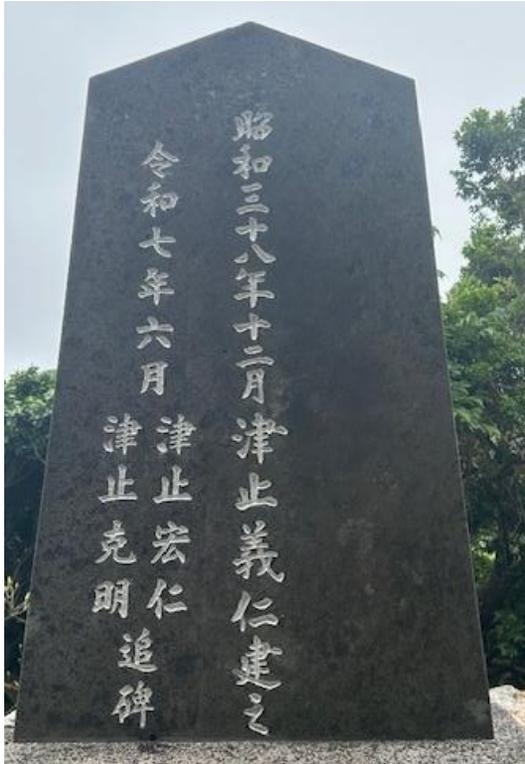
与路島重要史跡津止家太祖之墓の表記に『大アムシャレ』の『与路先人之墓』の文字が追碑



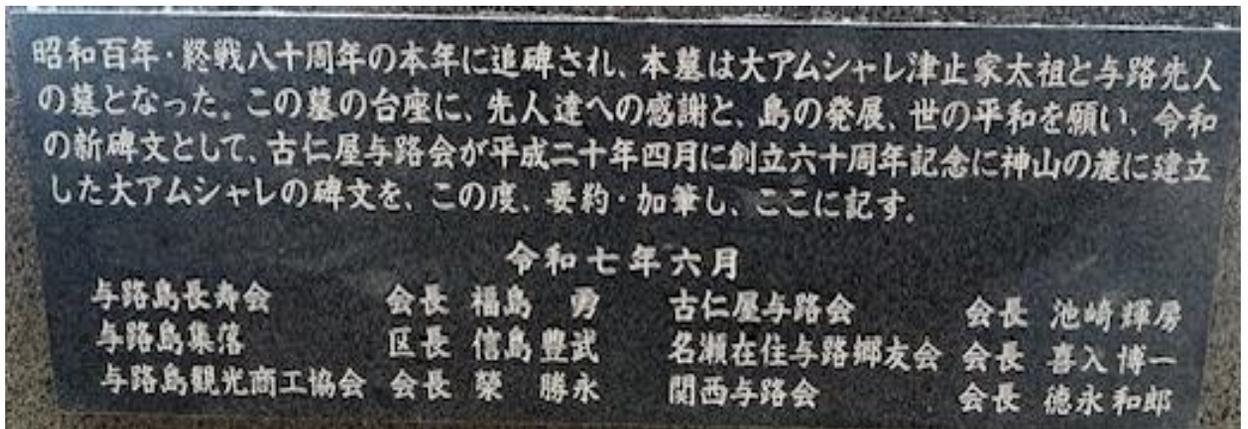
古仁屋与路会の碑文(平成20年神山麓に建立)の文字を450字から300字に要約・追加して追碑

大アムシャレの令和の新碑文
十五、六世紀頃の奄美群島は琉球王国の統治下であり、地方豪族の子女は琉球王から神官(ノロ神)に任命され、王に拝謁し祭政一致であたりを治めた。
与路島の津止家には、最高位に次ぐ大アムシャレの位を琉球王から授与され、奄美群島を二分して統治する神官クウイチャンがにいた。
或年、姪のタンムイバンを伴って大船で首里城に参内した。地元の神官達は姪の容姿に目をつけ、王府の妃として進上するように求めたが、大アムシャレは固く断り続けた。
或日、二人の前に毒がもられたお茶が出され、姪はこれを知らずに呑み倒れた。
拝謁団一行は与路を目指し、昼夜、船を走らせたが、三丁鼻の直前で、大アムシャレは冷たくなった姪を抱いて入水し、その為、船は転覆し、一行はオアム瀬に泳ぎついた。
深く悲しんだ与路集落の人々は、海岸からナバ石(珊瑚石)を手渡しで運び、この神山のアブリヤの地にノロ神墓を建て二人を弔った。
後に大アムシャレには、琉球王より立派な神具が贈られた。

昭和38年十二月津止義仁(義信)様建立の 記載に新たに 『令和七年六月 津止宏仁 津止克明 追碑』の 文字を追碑



令和七年六月 古仁屋会の大アムシャレの碑文に 昭和百年・戦後八十周年 追碑と連名で追碑



与路島 重要史跡追碑式 法要



日時: 令和7年6月14日(土)

午後1時より1時半

場所: 与路島 神山アブリヤ

報恩寺 三原住職



津止合金工業(株)

代表取締役社長 津止克明



唄者 里 朋樹様(郷土館)

与路島集落

名瀬在住与路郷友会

区長 信島豊武様

会長 喜入博一様



与路小中学校
校長

与路小中学校
教頭

右から津留哲志様、津止克明様、
当企画責任者太田雅人



与路島重要史跡追碑式 ～法要～



法要ご参列者：

前列左より 津留哲志様、
津止合金工業(株)代表取締役社長 津留克明様、
報恩寺 三原住職、津止彩加様、津止柑那様、

後列左より元雅亮様、与路島小中学校 三神 守教頭、松村健吾校長、
与路島観光商工協会 会長榮勝永、信島豊武与路島区長、
池崎輝元古仁屋与路会会長、喜入博一名瀬在住与路郷友会会長、古
仁屋与路会 森一治様、藤田柊亮様、唄者 里朋樹様、
(株)CJCASA代表 太田麻紀子、(株)GETTI 太田雅人

撮影：南海日日新聞社 報道部 鈴木菜津希様

与路島 重要史跡追碑式 集落報告会

日時:令和7年6月14日(土)

午後1時半より2時半

場所:与路島公民館

ご参加来賓・主催者スピーチ

古仁屋与路会

池崎輝房会長



津止合金工業(株)

代表取締役社長 津止克明様



津止克明様ご家族

与路島集落 信島豊武区長



唄者 里朋樹様(郷土館)

●与路島観光商工協会
会長 榮 勝永



与路島重要史跡追碑式 ～集落報告会～



法要ご参列者：

前列右から

与路集落 徳永和代様、津留しげこ様、
津留哲志様、報恩寺 三原住職、津止合金工業(株)津止克明代表取締役社長
津止克明様ご親族 津止柑那樣、津止彩加様、
与路集落 藤田柊亮様、藤田誉亮様

後列右から

榮はるき様、藤田麻衣子様、元雅亮様、津止幸武様、
与路島観光商工協会 榮勝永会長、古仁屋与路会 池崎輝房会長、
信島豊武与路集落区長、古仁屋与路会 森一治様、喜入博一名瀬在住与路郷友会会長
唄者 里朋樹様、(株)CJCASA代表 太田麻紀子、(株)GETTI 太田雅人

